

「みんなでストップ! 負担増署名」 にご協力ください

協会・保団連では、「患者負担を増やさないことを求める署名」(みんなでストップ! 負担増署名)に取り組み、県下で19,645筆、神戸支部で2,487筆に到達しています(11月18日現在)。

政府は、75歳以上の窓口患者負担を原則1割から2割にすることをはじめとした、負担増を計画しています。これ以上負担増が進むと、必要な医療を受けることが難しくなります。負担がのしかかるのは、高齢者のみではなく、全ての世代に及びます。私たちは、お金の心配なく安心して受診できるよう、以下の事項を求めます。

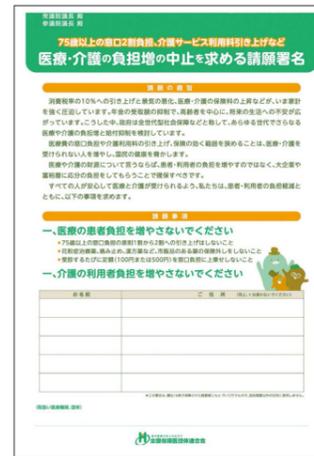
- 一、患者負担を増やさないでください
- 一、お金の心配なく安心して受診できるよう、窓口負担を軽減してください

会員の先生方には、署名用紙をお届けしております。まずは院長先生ご自身、ご家族、職員の方からご協力をお願いします。追加のご注文は、事務局(TEL:078-393-1807)または下の注文用紙をご利用ください。

署名用紙・グッズ 注文用紙 (送料も含めてすべて無料です) 返信 FAX078-393-1802

1	「ストップ! 負担増」 署名用紙	裏がチラシになっており、分かりやすく署名の内容を解説しています。	5名連記 () 枚 10名連記 () 枚
2	署名用ハガキ 	ハガキサイズの署名用紙です。署名をしていただけましたら、そのままポストに投函いただけます。ぜひ、患者さんや出入りの業者さんにお渡しください。	() 枚
3	署名付きポケットティッシュ	ポケットティッシュに“4”の署名用ハガキが付いています。“6”の投函箱もセットになっています。(なくなり次第終了)	1箱 100個入 <input type="checkbox"/> ←注文される方は“レ”を

お名前		電話番号	—	—
医療機関名		FAX番号	—	—
送付先住所	〒 -			



署名用紙(上)の他にポケットティッシュなどのグッズもご利用ください

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

341号
2020年11月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第41回総会 記念講演「てんかん治療ガイドライン」感想文

ウィズコロナ時代の 講演会のあり方



参加者から活発に質問が出され、二宮先生(左)がていねいに解説した

神戸支部は10月17日、神戸市内で第41回支部総会を開催。医師・歯科医師ら31人が参加し、2019年度活動まとめと20年度活動方針を承認し、支部役員を選出を行った(2面に支部役員一覧、3面に2020年度活動方針)。記念講演では、「てんかん治療ガイドライン～高齢者てんかんを含めて～」をテーマに、市立伊丹病院脳神経外科主任部長の二宮宏智先生が講演した。座長を務めた辛龍文先生の感想を紹介する。

(2面に参加者の感想文)

(1面の続き)

猛暑の後の2020年10月17日、神戸支部総会記念講演に参加しました。私は神経難病専門往診医とのことで、座長の大役が回ってきました。

てんかんは外傷後の後遺症であるとか、検査が大がかりであるため、希少で扱いにくい疾患と思われてきましたが、最近高齢者にもよく見られる common disease であることが分かってきました。先生は基本的事項から実際の臨床で出会うような症例を紹介してくださり、非常に分かりやすく、会場からも大事ながら理解しづらい事柄に対する質問が出されました。私からも高齢者の扱いについて詳細に答えていただきました。特にてんかん患者の自動車運転に関し、色々な議論が出されました。実際の臨床での対応についても教えてくださり、明日からすぐに役立ちそうです。

コロナ禍のため、講演会がほぼ完全にリモート配信されている中で、やる側も聞く側も何か味気ない感がぬぐえない現状の中、“リアル”な講演会に参加できる貴重な機会となりました。二宮先生も講演の冒頭で、同じ味気無さを述べられ、現在の閉塞感を共有することができました。私もリアルな講演会の座長ということで、喜んで承諾した次第です。

このようなリアルとリモートの hybrid な講演会を設定して下さる保険医協会に敬意を表するとともに、これから来るウィズコロナ時代の講演会のあり方を考える機会になったと思います。

【中央区 辛 龍文】

第41回神戸支部総会で選出された支部役員

(任期：2020年10月～2022年9月)

支部長1人 田中 孝明(長田区)

副支部長4人 武村 義人(中央区)

小西 達也(中央区)

近重 民雄(須磨区)

鈴田 明彦(灘区)

支部幹事21人

(東灘区)口分田 真・村上 正治・伊賀 文彦・森岡 芳雄

(灘区)椿田 重彦・小谷 圭

(中央区)郷地 秀夫・林 重伸・加茂 統良・武富 雅則・林 宏明(新)

(兵庫区)吉川 信嘉

(北区)大石 麻利子・川西 敏雄

(長田区)上田 耕蔵・江原 重幸

(須磨区)加藤 擁一

(垂水区)高橋知三郎・宮武 博明・佐々木 徹

(西区)上山 幸治・柏木 一英(新)

顧問1人 (灘区)落合 愛子

2020年度活動方針

- 1、学術研究会、医院経営研究会など会員の要求にそった研究会、事務講習会や接遇研修会など職員対象の研修会の開催に努める。
- 2、新規開業医を中心に未入会者への案内を強め組織強化に努める。また、病院訪問を積極的に行い病院・勤務医の協会活動への参加をすすめる。
- 3、支部活動の活性化をはかり、幹事会への参加を広げる取り組みを強める。
- 4、健康と医療について語り合う会への講師派遣などに積極的に協力する。
- 5、支部ニュースは、インタビューや投稿など会員を主体とした記事作りをすすめ、定期発行に努める。
- 6、震災復興対策では、震災復興長田の会など地域の運動に参加し共同をすすめる。
- 7、各区の社保協など、医療や福祉で共闘する団体への参加協力をすすめる。
- 8、地域の小児科病床不足問題、病院の統廃合問題、国保、介護保険など地域医療にかかわる重要な問題では、情報収集や行政への働きかけなどをすすめる。
- 9、神戸市政問題での運動に参加、協力する。「神戸・市民要求を実現する会」に参加し、神戸市に対する要求実現運動での共同に努める。
- 10、政策部と協力し、医療ツーリズムを含む神戸医療産業都市構想・医療特区問題などに取り組む。

神戸・市民要求を実現する会が総会

コロナ禍の今、市民生活支援・社会保障充実を

武村副支部長を代表委員に再任

神戸支部も参加する「神戸・市民要求を実現する会」は11月12日、第10回総会を協会会議室で開催。加盟各団体から18人が参加し、活動報告と新年度方針、新役員を承認した。武村義人・神戸支部副支部長(兵庫県社会保障推進協議会会長)が代表委員に再任された。

武村先生は、神戸市は「行財政改革方針2025」で職員削減と来庁者数削減を打ち出しているが、三宮の大型開発事業は一切見直そうとしていないと批判。新型コロナ禍のなかで市民の生活支援、医療や福祉の充実が必要であると訴えた。

加盟各団体からは「新型コロナによって労働相談が急増している。市民の生活が苦しくなる中、神戸市の支援が必要」、「新型コロナ感染拡大のなかでも狭い保育室に多くの子供が詰め込まれている。公立保育所の増設・整備を」などの実態が報告され、神戸市へ改善要望と懇談依頼を行うことが確認された。



医療や福祉の充実を訴える武村副支部長